

- 農山漁村の活用可能な**地域資源**を他分野と組み合わせること等により活用する「**農山漁村発イノベーション**」により、地域における**新たな事業・雇用機会を創出**（6次産業化を発展）。
- 農山漁村発イノベーションの推進に当たっては、農業以外の事業にも取り組む農業者や事業体等**多様な主体**が連携。
- **国・都道府県段階にサポートセンターを設置**し、プランナーが支援を希望する多様な事業主体をサポート。

- 農山漁村発イノベーション**
- 農山漁村の**あらゆる地域資源をフル活用**した取組を支援
 - 他産業起点の取組など**他分野との連携**を一層促進

多様な農山漁村の地域資源

農林水産物 農地・林地 自然 野生鳥獣
農業遺産 かんがい施設遺産 古民家・空家 廃校 景観
歴史的建物 バイオマス 文化・歴史

多様な事業分野

加工販売 健康医療 エネルギー
観光・旅行 福祉 教育 スポーツ
情報通信 芸術 イベント アウトドア

これまでの6次産業化

地域資源 分野
農林水産物 加工販売
主体
農林漁業者

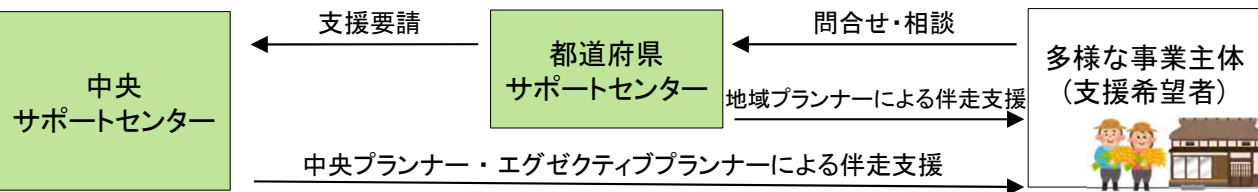


**地域の所得の向上
雇用機会の増大**

多様な事業主体

農林漁業者 地元企業 農的関係人口 研究機関
農村マルチワーカー 農村RMO ベンチャー企業

農山漁村発イノベーションサポートセンターによる支援



【農泊】 農業・文化 × 観光

- 農山漁村の活性化と所得向上を図る「**農泊**」の取組を推進し、「**令和2年までに農泊地域500地域創出**」の目標を達成

取組事例（宮城県蔵王町）

概要

- **地域の農産物を食として提供するほか、地元農家の農業体験や文化体験も取り入れて農泊を展開。**
- まちづくり、観光物産協会、福祉施設、移住相談室など**多様な主体**が参画。

成果

- 民泊宿泊者数は**9,560人増加（約2.9倍）**
- 地域全体の総売上高が**約1.0億円増加（約2.8倍）**。



【ジビエ】 野生鳥獣 × 加工販売

- ジビエ利用拡大の取組を推進し、「**ジビエ利用量を令和7年度までに倍増（4,000t）**」させる目標を設定

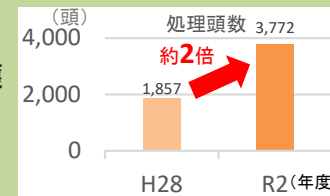
取組事例（鳥取県東部地区）

概要

- 捕獲者を対象に、**ジビエ利用に適した捕獲技術を習得するための研修を実施。**
- 放血から2時間以内の個体は、原則全頭受入れ。
- 処理加工施設がない地域から、ジビエ専用回収車を用いて**広域回収する体制を構築。**

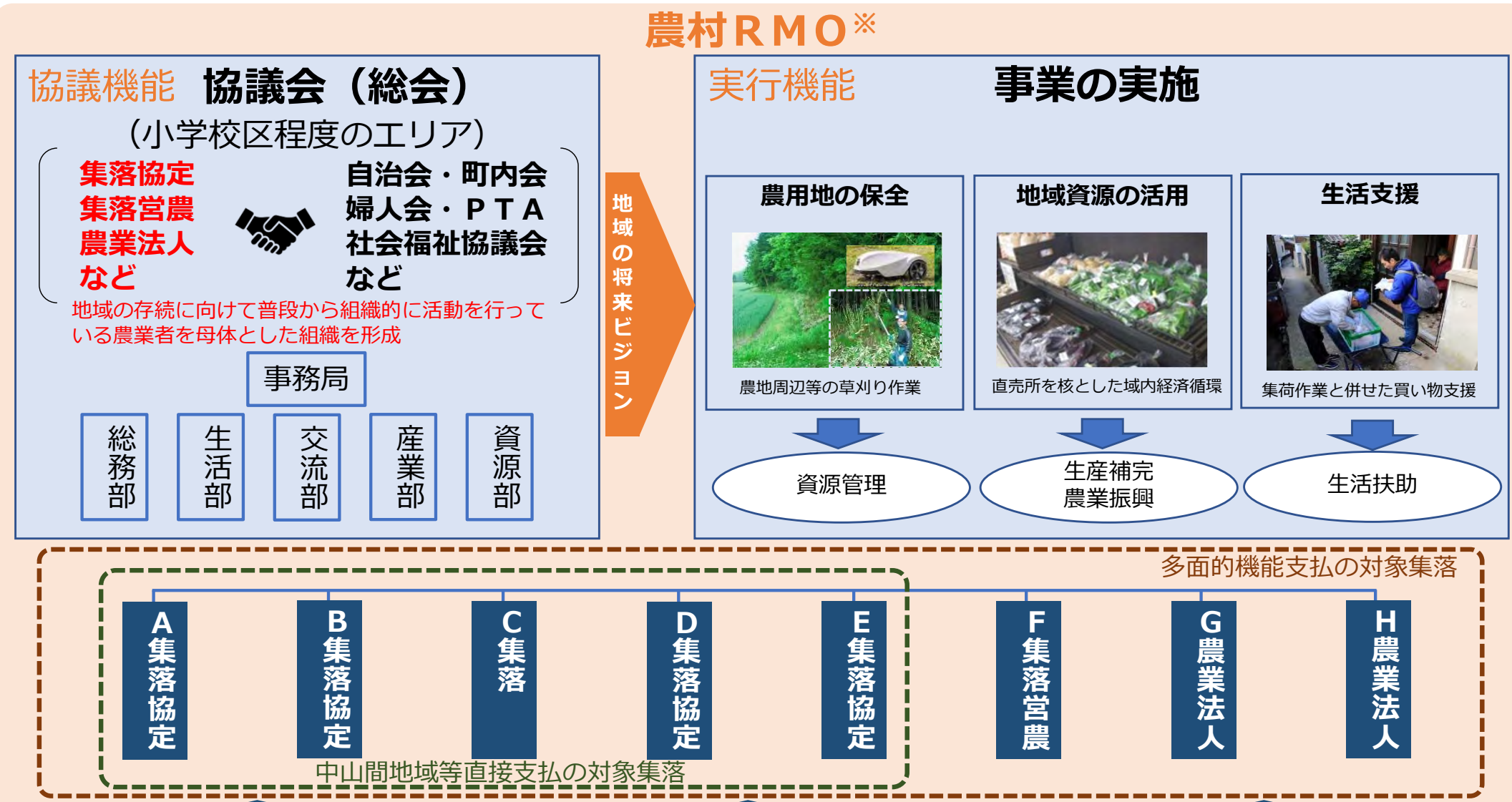
成果

- 年間処理頭数が**約2倍**に増加。



【くらし】中山間地域の保全のための農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基本となる農用地等の保全、地域資源の活用、農山漁村の生活支援に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき各事業を実施。



中山間地域等直接支払、多面的機能支払による共同活動、組織的活動の下地

※ 地域運営組織が展開する活動は多種多様であり、法人格を持たない任意団体（自治会・町内会、自治会等の連合組織など）をはじめ、NPO法人、認可地縁団体、一般社団法人、株式会社、合同会社など多様な法人制度を活用。

- 地域の関係者が話合いを通じて土地の利用方法等の合意形成を図り、農山漁村発イノベーションや農用地保全等の取組を実施。
- 農村型地域運営組織（農村RMO）を始めとする農林漁業団体等からの提案等を踏まえ、農用地の保全など農山漁村の活性化に資する活動を支援。



土地利用方法等に関する地域での話合い

- ・ 地域の土地の利用状況と将来の利用見込み
- ・ 担い手となる者や団体の把握
- ・ 活性化のための施設（イノベーション施設等）の整備の方向性
- ・ 鳥獣被害の状況と対応方法 など



農林漁業団体等が実施する農用地保全事業等を
地方自治体に提案



土地利用調整を円滑に行い農用地保全事業等を実施

- ▶ 農用地保全事業等を推進するため、土地利用調整を円滑化する仕組みを検討

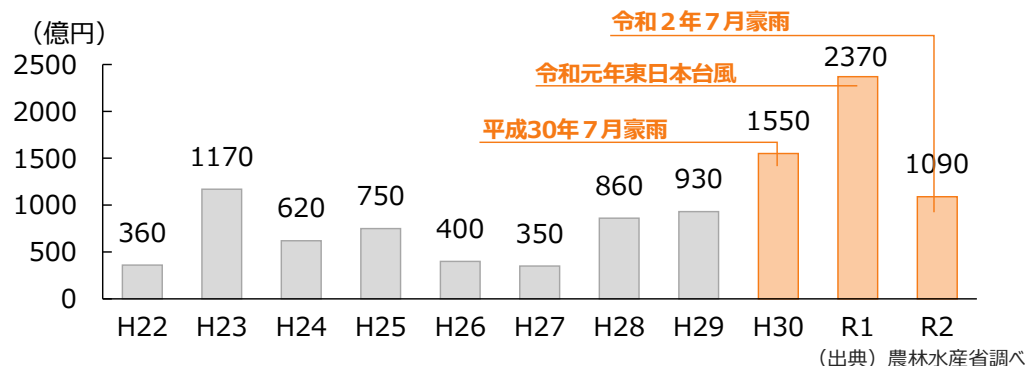
農用地保全事業



地域の関係者を交えた土地利用方法の話合い

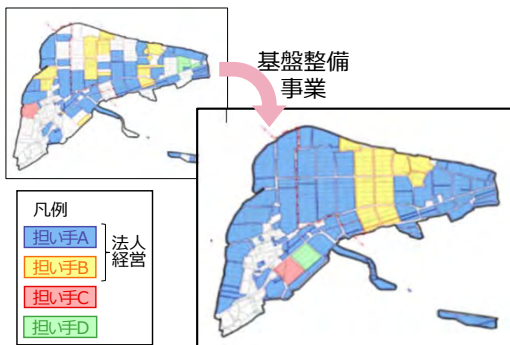
現状及び課題

激甚化・頻発化する豪雨災害による農地・農業用施設等の被害

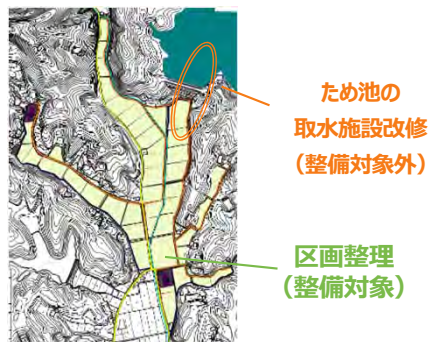


担い手への農地の集積・集約化の加速

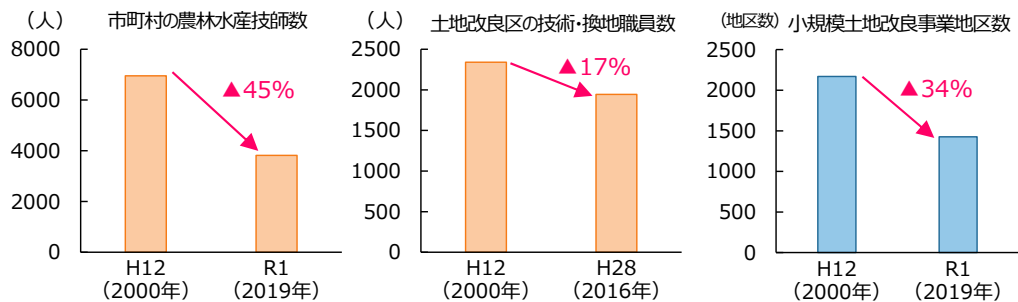
【基盤整備を契機とした担い手への農地集積・集約化】



【農地中間管理機構関連農地整備事業】



市町村・土地改良区の技術職員数と小規模土地改良事業の事業量

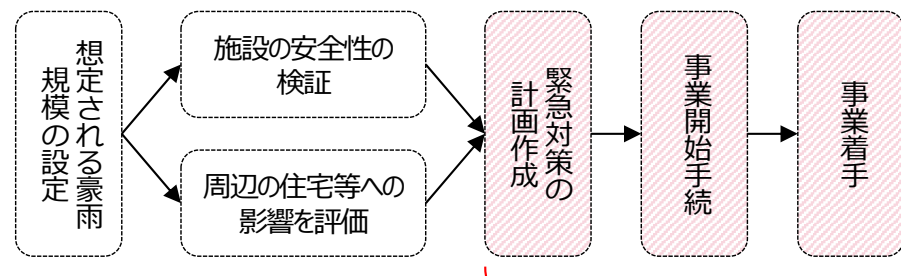


(出典) 地方公共団体定員管理調査(総務省)
土地改良区運営実態等統計調査(農林水産省)

(出典) 農林水産省調べ

対応方向

緊急的に実施する豪雨対策事業



緊急性を踏まえ
国又は地方自治体の判断で手続を迅速化

機構関連農地整備事業の整備対象に農業水利施設等を追加

暗渠による排水改良

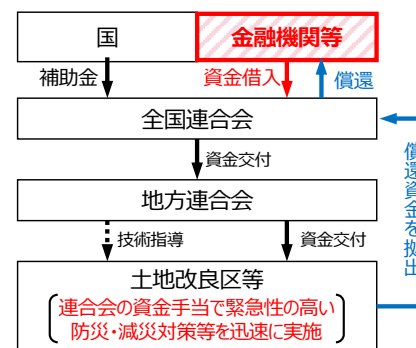


用水路のパイプライン化と農道の拡幅

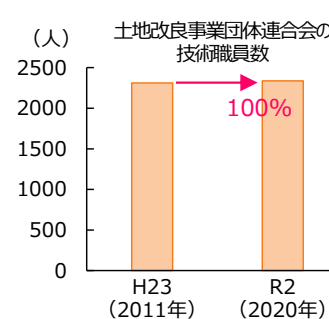


土地改良事業団体連合会による支援強化

資金面での支援強化



実施面での支援強化

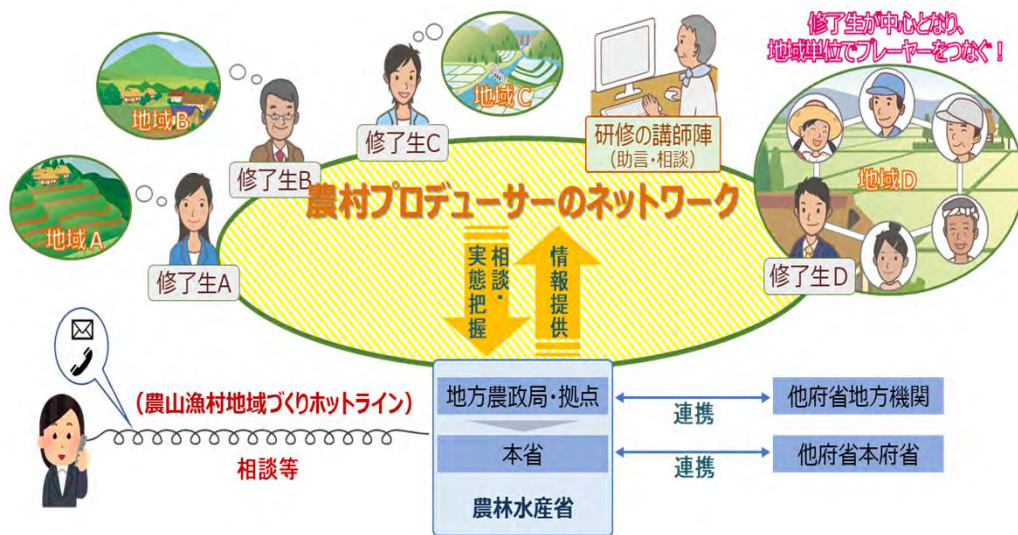


連合会の技術職員を活用

- 地域づくり人材の育成とネットワーク化を進めるとともに、地方自治体等に対する広域的なサポート体制を構築。
- 農業体験等を通じた農村ファンづくり、外部人材と農村とのマッチングの推進等により、農的関係人口を創出・拡大。

地域づくり人材の育成「農村プロデューサー養成講座」(令和3年度～)

- ・ 地方自治体職員等を対象に、地域サポートの担い手となる地域づくり人材（農村プロデューサー）を養成
- ・ 「講義」「実例を基にした模擬演習」「研修生自らの実践活動」の3段階で、現場力を身につけるためのきめ細やかなカリキュラムを用意
- ・ 研修後も修了生同士で支え合いながら活動できるよう、修了生等のネットワークを構築



地域づくりに取り組む市町村等からの相談に応ずる窓口を全国に設置

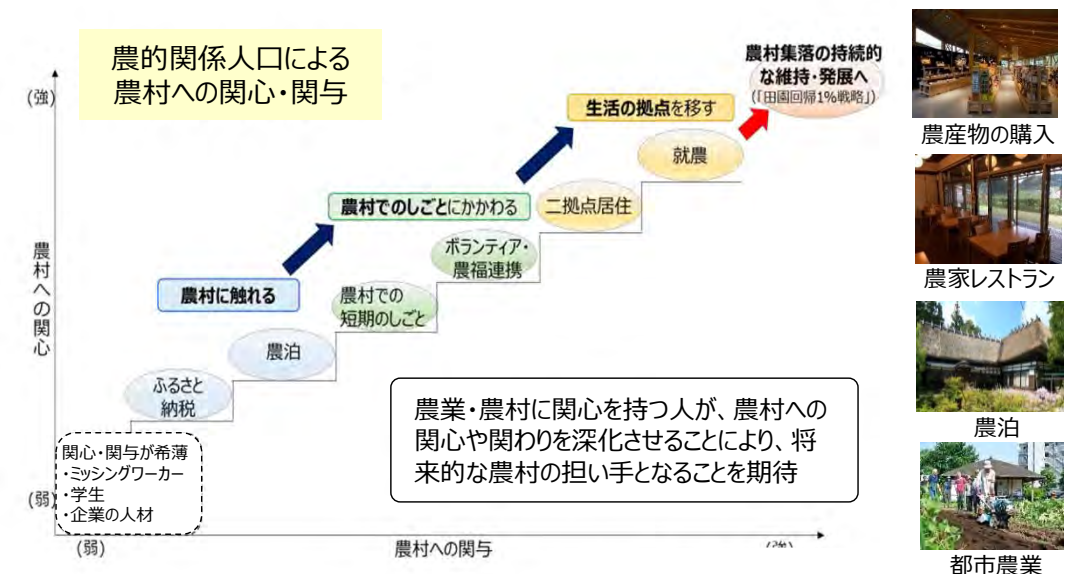
地方自治体等に対する広域的なサポート体制の構築

地域ごとに異なる課題の解決を図るため、専門的な知識を有する人材の活用も含め、自治体等を広域的なサポート体制により支援

- ・ 都道府県において、農村型地域運営組織（農村RMO）形成を伴走支援する中間支援組織を育成
- ・ 農山漁村発イノベーション推進のため、専門家派遣等を行うサポートセンターを設置

将来的な農村の担い手となり得る「農的関係人口」の創出・拡大

- ・ 農産物の購入、農泊、ユニバーサル農園での農業体験等や、農村の魅力の発信を通じて「農村ファン」づくりを推進
- ・ 農業体験の場の提供等、都市農業・農地の多様な機能の維持・増進の取組を推進



地域づくりに関わる多様な人材の確保

- ・ 農山漁村での様々な活動に、農山漁村に興味がある多様な人材が関わることのできる仕組みを構築（農山漁村関わり創出事業）
- ・ 多様な人材の受け皿として、農村型地域運営組織（農村RMO）を育成するとともに、特定地域づくり事業協同組合等と連携

(農山漁村への労働力・専門的知識の提供)

